

3月10日の米国主要株価指数急落について

テクニカル面、投資指標面を鑑みると、相場急落は一服か

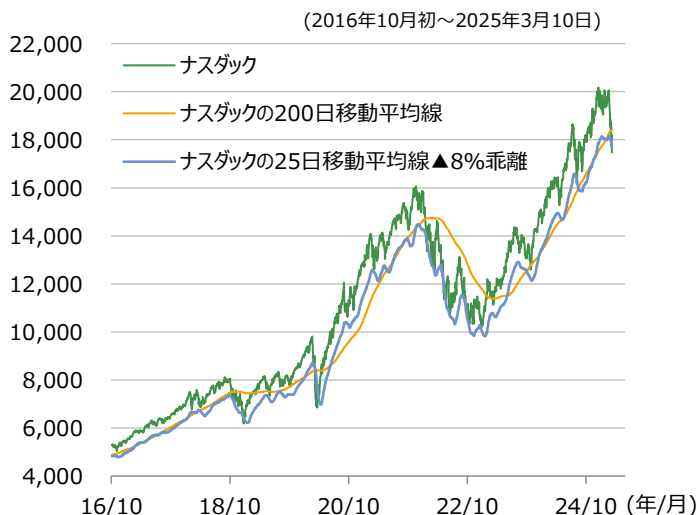
2025年3月11日

トランプ関税による米景気後退懸念を嫌気して米国株は急落

3月10日（月）の米株式市場では主要株価指数が軒並み大幅下落。ナスダック総合指数は前週末比▲4.0%、昨年12月の史上最高値から▲13%となり、調整局面入りとされる水準に達しました。S&P500も前週末比▲2.7%となり、下値支持線である200日移動平均線を割り込みました。下落のきっかけは米メディアに出演したトランプ米大統領の発言。トランプ氏が推し進める関税引き上げや政府支出の削減により、景気後退入りする可能性を明確に否定しなかったことが、市場参加者の不安心理をあおりました。いつときトランプラリーの主役だったハイテク株や景気敏感株の下落が目立っています。

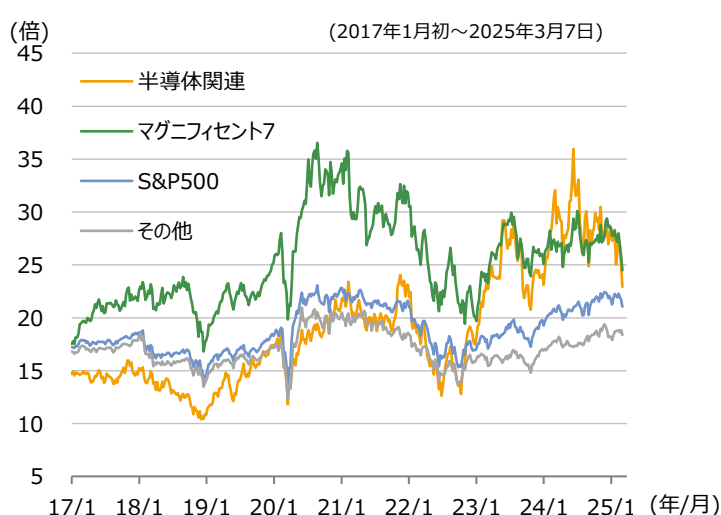
ナスダック総合指数は、相場急落時の反発目処である25日移動平均線の▲8%乖離（経験則上、急落時に株価がこの水準近辺に達すると比較的短期で反発する。3月10日現在で17,700弱）を既に割り込んでいることや、今回の下落を主導した半導体関連株の予想PERは、既に24年におけるレンジ下限に達したことから、そろそろ米国株は下値を固める展開になると考えられます。一方、これまでの下落である程度織り込まれているとはいえ、3月12日の鉄鋼・アルミ製品への関税発動や、4月2日の相互関税を含めた関税策の全容公表など、関税を巡るイベントが続くことから、当面は神経質な相場展開になると考えられます。

図表1 ナスダック総合指数の推移



(出所) LSEGより大和アセット作成

図表2 S&P500構成銘柄のセクター別予想PER



※予想は12カ月先。3/7時点のLSEGによるボトムアップ集計値

(出所) LSEGより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。